

答 辞

例年と比べ、暖かい日の続いた穏やかな冬も終わりを告げ、さらに暖かさを感じる日差しや吹く風の中に、春の気配が感じられます。

本日、私たち定時制課程九名は晴れて卒業の日を迎えることができました。

本日は、このような式を挙げていただき、心から感謝を申し上げます。この日を迎えることが出来た喜びを感じていると同時に、三年間を共に過ごしてきた仲間やこの本荘高等学校との別れに寂しさも覚えています。今、振り返ると、様々な思い出が蘇ってきます。

私はこの三年間、私の人生にとって大きなことを学びました。それは、今の自分を少しでも変えたいと思ったとき、勇気を持って一步を踏み出せば、自分を変えることが出来るということです。それを学んだことで、私は大きく成長することが出来ました。

三年前、入学式で、初めてスーツを着て、これからの高校生活に不安と緊張を抱いてこの場所にいました。入学当初は、同級生に声もかけられず、うまくやっていけるか不安でしたが、学校行事のなべっこやミニ縁日、球技大会など、クラスの皆と一致団結して、様々な行事に取り組むことで、心の距離を縮めることが出来ました。今年度は全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会秋田県大会で最優秀賞を受賞し五十年ぶりに全国大会で発表、剣道部も合同チームで全国大会に出場しました。私自身も軟式野球部とバドミントン部に所属し部活動にも打ち込みました。二年次に軟式野球部は本校初の北東北大会に出場することができたこと。私が投手として出場した試合で勝つことができたことが一番の思い出です。今年度は部員が集まらず、大会に出場することは出来ませんが、入部してくれた後輩と監督との練習は、やりがいがあったので楽しかったです。またバドミントン部として出場した全県総体で同級生達と三位に入賞したときも仲間と心のつながりを感じる事が出来ました。

さて、定時制課程では働きながら学ぶ「働学一体」の精神を掲げています。私も二年生の時にアルバイトをしておりました。早朝からの勤務で、体力的にも、精神的にも厳しく、親や友達に苛立っていた時期もありました。しかし、定時制課程生徒の半数がアルバイトをしているので、色々なアドバイスをくれたり、アルバイトの話聞いてくれたりして、心がとても楽になりました。仕事の中で得た人間関係や仕事の中で身に付けた知識はどれも貴重な糧となっています。

卒業を迎えた今、私は大きな宝物とも言えるものを持って卒業することが出来ます。一人だけで重たい荷物を抱えることができなくても、一緒に持ってくれる仲間が必ずいます。心が弱っていたら、黙ってそばにいてくれる仲間も必ずいます。ふと気がつくと、生徒と一緒に頑張って下さっている先生方

がいます。どのようなことがあっても、いつも一番近くで応援してくれる家族がいます。思い返せば私の周りには、そっと手を差し伸べてくれて、励まし応援してくれる人がたくさんいました。私は、みなさんのおかげでここまで大きく成長することが出来ました。今は、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

卒業生のみなさん、今日で高校生活が終わりになります。今、思い返せば、みなさんと過ごした何気ない日常のことも愛おしく思います。みなさんと共に卒業できることは、私にとって最高の幸せです。これから先、私たちには様々なことが待っていることと思います。辛く苦しいことと向き合うその時には、共に過ごした仲間を思い出して一歩を踏み出しましょう。そしてまたいつか、変わらぬ笑顔で再会出来ることを心から願っています。

最後になりましたが、お世話になった校長先生をはじめとする先生方、事務の方々、保護者のみなさま、在校生のみなさんに感謝を申しあげ、ここにいらっしゃる皆様方のご多幸とご健勝、さらに本荘高等学校のより一層のご発展を心から願い、答辞いたします。

令和二年三月一日

秋田県立本荘高等学校定時制課程

卒業生代表

柳田 祐